

# 九州のなかま

2009 - 11

春闘情報: NO. 1

発行日 : 2010年1月26日(火)

発行者 : 生協労連 九州地連

九州地連春闘組合学校

## 2010年春闘において意志確認!

1月23日(土)~24日(日) 長崎・にっしょうかんに203名結集

街中いたるところ、「福山雅治・龍馬」のポスターが目につく長崎に、九州のなかまが集いました。近年にない参加者203名を迎えて、会場は開会前から熱気に満ちていました。中野委員長の開会挨拶、開催県代表・ララコープ労組浦岡委員長、ララコープ専務理事瀬川さんの挨拶に続いて、さっそく春闘方針の提案が行われました。生協労連桑田委員長より、「新しい政権の下での春闘、今までとは違った情勢の下で闘う。深刻化する労働者の実態、時給1,000円以上の全国一律最低賃金制度の確立、パート法の実効ある改正を...、事業も職場も大変、私達の職場の展望を切り開き、賃金の底上げをめざそう」と、2010年春闘をめぐる情勢について提案がありました。九州地連春闘方針について中山書記長から、「戦後長らく続いていた自民党政権から民主党を中心とした連立政権が発足し、国民本位の政治を実現できる可能性が高まっている。この機を生かし、2010年春闘を私達の要求を実現する闘いと位置づける。この間賃金抑制、一時金削減で私達のくらしは厳しさを増している。賃上げは切実な要求となっている。しっかり議論し、要求を提出しよう。パート、非正規労働者の仕事の質や量は、ますます均等待遇を求めている。具体的に要求して、一歩でも前進しよう」と、提起がありました。続いて永吉副委員長より、方針の補強及び行動提起が行われ、「働くルールの確立を、雇用の安定と全国一律最低賃金制度の確立、改正パート法を活かし、均等待遇・均衡処遇実現へ等」、が重点課題として掲げられました。



生協労連 桑田委員長



学習会講師 鈴木彰さん

その後9つの分科会に分かれて、テーマ毎に学習や熱い議論が交わされました。

2日目は、「いま生協と生協労働者に何が求められているか?」と題して元生協労連書記長の鈴木彰さんによる講演が行なわれました。生協運動の歴史から始まり、「2つの使命」をより豊かに、職場の変化と労働組合運動の復活へ、政治的大変動のなか2010年春闘に大志を!...等々、鈴木節復活!!

各単組委員長の決意表明では、「賃金の底上げを要求していく、非正規のなかまの処遇改善など」、力強い発言が続きました。

2日間学んだこと、なかまと論議したことを単組に持ち帰り、生協の事業と運動の展望を主体的に切り開き、職場の深刻な実態を改善し、安心して働き続けられる職場環境をめざして、私達の未来(明日)を創るたかいをなかまとともに元気に取り組みもう!



元気なコープさが労組のなかま



コープみやざき労組前田さん



団結がんばろう!

お願い: 2010年春闘関連の取組み 他の情報を地連まで

忘れ物  
女性用のフード付き上着  
色は黒、フードの周りは黒レースの縁取り。お心当たりの単組は地連まで連絡を!